

令和元年 畑作・野菜病害虫発生情報 第22号

作物名：大豆（8月下旬）

津軽地域でべと病、県内全域でチョウ目幼虫による食害が目立っています。

1. わい化病

津軽地域、県南地域ともに発生地点率は平年より高かったが、ごくわずかな発生であった。

わい化病の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率 (%)					発生地点率 (%)	発病面積率 (%)
				甚	多	中	少	微		
8月下旬	津軽	本年	16	0	0	0	0	18.8	18.8	0.00
		前年	16	0	0	0	0	0	0	0
		平年	16	0	0	0	0	8.1	8.1	0.00
	県南	本年	5	0	0	0	0	40.0	40.0	0.01
		前年	6	0	0	0	0	0	0	0
		平年	6	0	0	0	2.4	10.5	12.9	0.25

注) 平年値：過去7か年の平均値
発生程度：甚 発病株率50%以上、多 同31~50%、中 同11~30%、少 同1~10%、微 同1%未満

2. べと病

津軽地域では、発生地点率、発病葉率ともに、平年より高かった。
県南地域では、発生地点率は平年より低く、発病葉率は平年よりやや低かった。

べと病の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (%)	発病葉率 (%)
				甚	多	中	少		
8月下旬	津軽	本年	16	0	0	37.5	56.3	93.8	15.8
		前年	16	0	0	0	93.8	93.8	9.3
		平年	16	0	0	11.1	68.9	80.0	9.5
	県南	本年	5	0	0	0	80.0	80.0	11.6
		前年	6	0	0	33.3	66.7	100	17.3
		平年	6	0	0	17.3	76.0	93.3	14.0

注) 平年値：津軽地域は2016年を除いた過去4か年、県南地域は過去5か年の平均値
発生程度：甚 発病葉率76%以上、多 同51~75%、中 同26~50%、少 同25%以下
調査基準：10株2か所の各株5節の複葉について、その小葉(計300枚)の罹病葉数(病斑面積率5%以上)を調査し発病葉率を算出

3. アブラムシ類

津軽地域、県南地域の各1地点で寄生が確認された。なお、寄生種はジャガイモヒゲナガアブラムシであった。

アブラムシ類の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (%)	1複葉当たり寄生虫数(頭)
				甚	多	中	少		
8月下旬	津軽	本年	16	0	0	6.3	0	6.3	0.09
		前年	16	0	0	0	0	0	0
		平年	16	0	0	6.4	5.4	11.8	0.23
	県南	本年	5	0	0	20.0	0	20.0	0.74
		前年	6	0	0	0	0	0	0
		平年	6	0	2.9	2.4	4.8	10.0	0.79

注) 平年値：津軽地域は2016年を除いた過去6か年、県南地域は過去7か年の平均値
発生程度：甚 1複葉当たり虫数51頭以上、多 同11~50、中 同1~10、少 同1未満

4. 吸実性カメムシ類

津軽地域の1地点で、主要種であるホソヘリカメムシを確認した。

吸実性カメムシ類の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (%)	寄生数 (頭/25株当たり)
				甚	多	中	少		
8月下旬	津軽	本年	16	0	0	0	6.3	6.3	0.02
		前年	16	0	0	0	0	0	0
		平年	16	0	0	0	5.5	5.5	0.03
	県南	本年	5	0	0	0	0	0	0
		前年	6	0	0	0	0	0	0
		平年	6	0	0	0	7.1	7.1	0.03

注) 平年値：津軽地域は2016年を除いた過去6か年、県南地域は過去7か年の平均値
発生程度：甚 25株当たり虫数51頭以上、多 同26~50頭、中 同6~25頭、少 同1~5頭

5. マメシクイガ

津軽地域の発生盛期は、つがる市木造下福原で8月4半旬頃であったと推察される。つがる市森田中田ではまだ誘殺盛期が判然としないが、平年並の8月6半旬頃と予想される。

県南地域の発生盛期は、十和田市赤沼、八戸市市川町ともに8月4半旬頃であったと推察される。

性フェロモントラップにおけるマメシクイガの誘殺推移および産卵状況

地域	設置場所	月 半旬	7						8						9								
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6			
津軽地域	つがる市 (森田中田)	本年	-	-	0	0	0	1	0	5	12	27	56										
		前年	-	-	-	-	-	-	0	0	1	8	22	24	65	80	15	0	-	-			
		平年	-	-	-	0	0	0	0	1	4	18	60	97	85	58	36	8	4	1			
	つがる市 (木造下福原)	本年	-	-	0	0	0	0	5	2	5	17	7										
		前年	-	-	-	-	0	0	1	0	0	0	1	2	8	6	0	0	0	0			
		平年	-	-	-	0	0	0	0	4	10	20	19	14	5	5	11	5	0	0			
県南地域	十和田市 (赤沼)	本年	-	-	0	0	0	0	7	28	45	85	46										
		前年	-	-	-	-	0	0	4	1	12	10	38	37	30	30	0	0	0	0			
		平年	-	-	0	0	0	0	9	24	75	100	62	25	12	5	0	0	0	0			
	八戸市 (市川町)	本年	-	-	0	0	0	0	3	28	14	54	31										
		前年	-	-	-	-	0	0	0	0	0	20	28	55	41	2	3	1	0	0	0		
		平年	-	-	-	0	0	2	3	13	37	62	101	81	6	4	2	1	0	0			

注) 平年値：つがる市木造下福原は過去4か年、つがる市森田中田及び八戸市市川町は過去6か年、十和田市赤沼は過去7か年の平均値。

6. ウコンノメイガ

津軽地域では中発生ほ場が1地点で認められたものの、発生地点率は平年並、株当たり葉巻数は平年より少なかった。

県南地域の発生地点率は平年よりやや低く、株当たり葉巻数も平年より少なかった。

ウコンノメイガ幼虫による葉巻症状の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (%)	株当たり葉巻数 (枚)
				甚	多	中	少		
8月下旬	津軽	本年	16	0	0	6.3	56.3	62.5	0.41
		前年	16	0	0	0	25.0	25.0	0.05
		平年	16	1.1	6.4	14.3	42.9	64.7	0.98
	県南	本年	5	0	0	0	60.0	60.0	0.14
		前年	6	0	0	0	50.0	50.0	0.03
		平年	6	0	4.8	26.2	43.8	74.8	0.90

注) 平年値：津軽地域は2016年を除いた過去6か年、県南地域は過去7か年の平均値。
発生程度：甚 株当たり葉巻数11枚以上、多 同6~10枚、中 同1~5枚、少 同1未満
調査基準：10株2か所について、小葉における葉巻数を計測し、株当たりの葉巻数を算出

7. その他のチョウ目幼虫

津軽地域の被害葉率は平年より高く、幼虫捕獲数も平年よりやや多かった。
 県南地域の被害葉率は平年よりやや高く、幼虫捕獲数は平年より多かった。
 捕獲幼虫は、ツメクサガ・オオタバコガ、ウワバ類が多かった。なお、津軽地域の1地点でハスモンヨトウが確認された。

チョウ目幼虫による食害状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (%)	幼虫捕獲数 (100株相当)	被害葉率 (%)
				甚	多	中	少			
8月下旬	津軽	本年	16	6.3	12.5	37.5	43.8	100	5.9	32.9
		前年	16	0	6.3	6.3	87.5	100	1.9	14.7
		平年	16	4.3	11.4	27.0	55.4	98.0	4.9	25.5
	県南	本年	5	0	0	20.0	80.0	100	5.0	19.8
		前年	6	0	16.7	33.3	50.0	100	4.5	27.3
		平年	6	0	7.1	16.7	66.2	90.0	2.6	14.0

注) 平年値：津軽地域は2016年を除いた過去6か年、県南地域は過去7か年の平均
 発生程度：甚 被害率76%以上、多 同51~75%、中 同26~50%、少 同25%以下
 調査基準：10株2か所の各株5節の複葉について、その小葉(計300枚)の被害葉数(食害率10%以上)を調査し、被害葉率を算出
 幼虫捕獲数は、すくい取り(100株相当)によるツメクサガ、オオタバコガ、ウワバ類、ヨトウ類等の捕獲総数の平均値

すくい取りによる捕獲幼虫の内訳

調査時期	調査地点数	総捕獲数 (頭)	幼虫種別捕獲数 (頭)					
			ウコンノメイガ	ツメクサガ、 オオタバコガ	ウワバ類	ヨトウガ	ハスモンヨトウ	その他
津軽	16	95	0	69	16	0	1	9
県南	5	25	0	18	5	0	0	2
県計	21	120	0	87	21	0	1	11

注) その他：モンキチョウほか

(参考) 性フェロモントラップにおけるオオタバコガ雄成虫の半旬別誘殺数

設置場所	月	6						7						8						9						
		半旬	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
つがる市 (大豆)	本年	2	3	1	0	3	2	0	1	34	45	47	56	59	80	62	80	112								
	前年	3	3	0	1	14	14	12	5	4	8	18	3	35	24	21	40	13	96	32	51	23	66	42	10	
	平年	1	2	2	3	5	3	4	4	5	11	20	38	38	33	41	40	38	58	63	70	63	51	43	14	
十和田市 (大豆)	本年	9	3	2	5	0	1	1	0	8	14	23	62	57	52	72	62	68								
	前年	0	0	0	0	1	6	5	0	0	1	5	9	12	4	12	51	29	60	64	33	14	42	18	16	
	平年	4	3	2	2	2	1	2	3	5	14	18	33	35	42	62	58	78	68	76	77	112	76	42	36	

注) 平年値は過去7か年の平均値。
 ただし、つがる市の前年値、平年値はつがる市下牛湯での値、本年はつがる市森田中田での値、十和田市は全て赤沼での値。

(参考) 性フェロモントラップにおけるハスモンヨトウ雄成虫の半旬別誘殺数

設置場所	月	6						7						8						9					
		半旬	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
つがる市 (大豆)	本年	20	11	1	0	0	0	3	2	1	1	6	23	38	19	23	8	7							
	前年	18	3	0	0	1	23	65	52	19	24	76	46	5	55	47	60	87	152	103	521	61	91	93	49
	平年	5	1	4	2	9	9	24	40	28	44	45	51	36	39	55	57	71	77	69	175	56	48	65	37
十和田市 (大豆)	本年	4	1	0	1	1	0	1	1	2	0	0	4	27	8	16	16	7							
	前年	5	2	0	0	1	30	74	4	13	4	42	34	20	13	46	60	64	146	66	58	83	75	19	40
	平年	1	1	1	0	2	6	18	20	24	34	19	26	25	20	47	35	72	70	54	61	68	51	35	26

注) 平年値は過去7か年の平均値。
 ただし、つがる市の前年値、平年値はつがる市下牛湯での値、本年はつがる市森田中田での値、十和田市は全て赤沼での値。

《当情報に関する問い合わせ先》
 青森県病害虫防除所 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900
 〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6 担当：技師 鎌田美咲